



まつざき

2009
(平成21年)

8

No. 543



第25回 松崎海洋センター水泳大会 (7/20)

第25回松崎海洋センター水泳大会が開催され、町内の小学生95人が出場しました。
大会では、ビート板競技や、自由形、平泳ぎなど五種目とリレー競技が行われました。

自らの命は自ら守る！

自らの命は自ら守る！ 自らの地域は皆で守る！

9月1日の『防災訓練』に参加しよう！

九月一日は「防災の日」です。この日は、東海地震を想定した総合防災訓練が行われます。各地区自主防災会を中心に、地区の実情に合わせた訓練が行われます。皆さまの積極的な訓練への参加をよろしくお願いいたします。

自主防災活動へ 参加しましょう

地域ぐるみの 協力的体制を！

大規模な地震が発生した場合、水道や道路の寸断、同時多発火災、津波などにより被害が広範囲に広がり、消防や警察、国・県・町といった行政機関だけでは対応しきれな

いことも考えられます。

そのため、自らの命を守り、地域を守るためには、**地域ぐるみの協力的体制**をとることが必要となります。

阪神・淡路大震災では、倒壊家屋から救出された人の四分の三は家族や近所の人たちによって救出され、被害の拡大を防ぎました。

また、震災後の避難生活が長引くことになれば、お互いに助け合って困難を乗り越えていかなければなりません。自主防災組織は、地域の人が自発的に防災活動を行う組織です。

自らの地域を皆で守れるよう、地域内での連携を深め、いざというときに備えましょう。

家庭での備え

食料・飲料水を 備蓄しましょう！

各家庭では、地震等の災害に備えて家族の避難先を確認しておきましょう。昼間や夜間・休日などに、どこに避難するのか決めておくことで

するのかが決めておくことで良いでしょう。貴重品や救急薬品、携帯ラジオなど、家族構成にあわせて必要なものを非常持ち出し品として用意し、災害時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

地震が起きた場合、行政による支援活動もすぐに来るかわかりません。支援が受け

られるようになるまで生活できよう、各家庭で食料（非常食三日分を含む家族七日分）・飲料水（一人につき三リットル/日の水を三日分）の備蓄をしてください。

※赤ちゃんのいる家庭は、ミルク・哺乳瓶・離乳食や紙おむつを用意しましょう。

補助金を活用して 家具を固定 しましょう！

地震が発生した時にはタンクや冷蔵庫といった家具・家電の転倒により、被害を受ける恐れがあります。家具は、丈夫な柱や壁に固定し、寝室には大型の家具を置かないなど、被害防止に努めましょう。

町では家具の転倒による被害を防止・軽減するため、町内の専門知識を有する方（大工・建具職等）が施工する家具などの固定に要する経費に対し、補助金の支給を行っております。

ぜひ、ご活用ください。

【補助の内容】

- 災害時要援護者世帯
経費の三分の二以内
（限度額八千円）
- 一般世帯
経費の二分の一以内
（限度額六千円）

※補助金の支給を受けるには事前の申請が必要です。

【問合せ】

総務課（42） 3963

静岡県消防協会操法大会

第三分団（中川）が出場！

平成二十一年七月十八日（土）に袋井市小笠山総合運動公園で第三十二回静岡県消防操法大会が開催されました。大会には、ポンプ車操法・小型ポンプ操法それぞれの部に、県内十支部から代表一チームが出場し、消防活動の基本となる規律、機械等の取扱い技術やタイムを競い合いました。



賀茂支部からは、ポンプ車操法の部に東伊豆町消防団、小型ポンプ操法の部に松崎町消防団第三分団（中川）が代表として出場しました。いづれも入賞は逃しましたが、五月上旬から続けてきた訓練の成果を発揮し、入賞した団に引けをとらない、堂々とした操法を大勢の消防関係者の前で披露しました。



子ども会球技（ドッジボール）賀茂郡大会 岩科ファイヤーイーグルスが優勝！

七月五日（日）、勤労者体育館を会場に、賀茂郡子ども会球技（ドッジボール）大会が開催されました。各地区大会にて、優勝、準優勝となった十チームが参加して熱戦が展開されました。男女混合の八人制でリーグ戦と各リーグでの勝利チームにて、決勝戦が行われ、松崎町代表の岩科ファイヤーイーグルスが西伊豆町代表の安良里Aチームを下し、見事優勝しました。



山本忠徳副町長が退職

七月二十日（月）付けで、山本忠徳副町長が退職しました。平成十八年二月一日に助役（副町長）に就任され、このたび、一身上の都合で退職されるまで、三年六カ月の間、副町長を勤められました。



職員の人事異動

七月一日（水）付けで、南伊豆地区一市三町合併協議会へ出向していた職員二人の人事異動がありました。

山下好文

（新）企画観光課課長補佐兼
商工観光係長

佐藤公宣

（新）生活環境課環境保全係
長（西豆衛生プラント
担当）

平成二十一年度

事業会計決算の概要

水道事業会計

平成二十一年度に給水された総水量は、約百三万立方メートルで、一般や営業など全体的に使用量が減少し、前年と比べ二万八千立方メートルの減となりました。

収益的収支では、収益が、料金改定に伴う増加により、前年比二千二百三十万円の増収となりました。一方、費用も修繕費や原油価格の高騰に伴う動力費などの増加により、前年比二百七十三万円の増額となりました。この結果、二千二十五万円の利益を計上することができました。

資本的支出の工事につきましては、地震対策として江奈峰、雲見の千貫門と入谷の各配水池の緊急遮断弁（注）の改修と、川の表流水を水源とする八木山浄水場に高感度濁度計を設置する工事を行うと

ともに、委託業務で、十年間の計画となる「松崎町水道ビジョン」の策定と二十一、二十二年で計画している江奈ポンプ場築造の実設計などを行いました。

配水池などの水道施設は、昭和三十年から四十年代に整備された施設が多く、老朽化による改修が必要となつてきます。

今後、これまでどおり経費の節減を行うなど水道事業会計の健全運営に努め、清浄な水の安定供給を図つてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

（注）緊急遮断弁とは、地震が発生したときに、配水池内の水の流失を自動的に遮断する装置です。

【問合せ】

生活環境課（42） 3969

温泉事業会計

現在の契約給湯戸数は、自家用三百十九戸と営業用三八戸で、毎分約二千二百リットルを確保し、年間二十万九千立方メートルを給湯しました。

収益は、営業用から自家用への変更や、事業縮小に伴う休止が増加したことなどにより供給収益は減少しましたが、現金の運用利益などで、事業収益は六千五百九十万円で前年比十二万二千円の減にとどまりました。一方、費用は動力費が増加したことなどにより六千七十三万円で、前年比百八十万円の増となり、結果純利益は五百十七万円となりました。

今のところ施設は順調に稼働していますが、今後設備の老朽化に伴う改良工事も見込まれることや、供給収益の更なる減少が推測されることから、なお一層施設管理に万全を期すと共に、加入の促進と経営の合理化に心がけ、事業を推進していきます。

【問合せ】

生活環境課（42） 3969

町営宿泊施設 伊豆まつざき荘事業会計

オープンから、三年目の施設運営となり、これまで以上の販売促進に努めました。

集客力と販売を高めるマーケティング戦略の提案として、新規宿泊者の拡大、リピーターの拡大、販売力強化の三つのテーマを掲げる一方、接遇や館内でのおもてなしの心得などに配慮し、職員一丸となつて営業促進に努めました。

費用面では、食事材料の見直し、人件費の削減など経費削減に努めましたが、原油価格の高騰や、食事材料の値上げにより、節減を上回る大きなコストアップとなりました。

平成二十年度の宿泊者数は、二万八千六百八人（前年対比百六十八人増）、宿泊利用率は五十七・三％（前年比〇・五％増）と前年度を若干上回る結果となりましたが、収益は三億六千三百三十万三千七百八十三円、費用は三億六千五百九十九万三千六百七十七円で、二百七十九万四千四百十六円の經常利益となり、増収減益となりました。

会計別決算状況

単位：千円（税抜）

項目	決算額		差引 (純損益)	前年対比(%)	
	収入	支出		収入	支出
水道事業会計	155,898	135,640	20,258	116.7	102.1
温泉事業会計	65,909	60,737	5,172	99.8	103.1
町営宿泊施設事業会計	363,303	360,509	2,794	102.3	103.6

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

今後も利用者のニーズに合う各種プランの実施や、エージェントセールス、新聞、雑誌、ホームページ等での宣伝強化を行い、公共福祉及び利用者増進に努力していきます。

国民年金の保険料 免除制度について

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、保険料の納付が免除または猶予される次の制度のご利用をお勧めします。

○免除制度

本人・世帯主・配偶者の前年所得が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が全額免除または一部納付になります。

○若年者納付猶予制度

三十歳未満の方で本人・配偶者の前年所得が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。

○学生納付特例制度

修業年限が1年以上の課程に在学している学生の方で本人の前年所得が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。

○特例免除制度

地震や火事などにより、被害金額が財産のおおむね二分の一以上となる損害を受けた場合や、失業して保険料を支

払うのが困難だと認められた場合には、申請により保険料の納付が全額免除になります。

免除・猶予の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べて、将来受け取る年金額が少なくなりますので、年金額を増やすためにも納付をお勧めします。(十年以内であれば、さかのぼって納めることが可能です。)

また、免除・猶予・特例のすべての期間は老齢基礎年金や障害基礎年金、遺族基礎年金を受給するための資格期間に反映されます。

※免除や猶予の申請をせずに未納となっている期間は、これらのメリットがないばかりか、二年を経過するとさかのぼって保険料を納めることができなくなります。

【問合せ】

三島社会保険事務所

055(973)1444
健康福祉課(42)3966

後期高齢者医療の 保険料について

○平成二十一年度後期高齢者医療保険料の決定について

平成二十一年度の所得に基づき、平成二十一年度分の後期高齢者医療保険料を八月に決定します。

保険料の決定通知に関して

は、普通徴収(口座振替や納付書払い)の方は八月中旬、特別徴収(年金からの天引き)の方は九月中旬にお知らせします。

なお特別徴収の方のうち、平成二十年度の保険料軽減措置により、平成二十年十月以降年金からの天引きが無くなった方は、八・九月は納付書での現金払い、若しくは口座振替となります。

ご自身の納付方法をご確認の上、必ず納付するようお願いいたします。

○高額医療・高額介護合算制

度が始まり

今までは、医療保険と介護保険は別々に自己負担の上限

を設けていましたが、両制度を利用して世帯の負担を軽減する制度が始まります。

今後は、両制度の自己負担を合計した額についても年間の上限を設定し、上限を超えた金額をお返しします。

詳しくは、健康福祉課までご連絡ください。

○新しい保険証は届きましたか？

後期高齢者医療被保険者証は、八月一日に更新されました。新しい「緑色」の保険証が届いているか確認してください。また、限度額適用・標準負担額減額認定証も同じく更新となります。

こちらの手続きは、申請が必要となりますので、申請手続がまだ済んでいない方などは、健康福祉課までご連絡ください。

公的年金からの住民税の 特別徴収延期のお知らせ

高齢化社会の進展に伴い、今後、公的年金を受給される方が増加することが予想され、公的年金受給者の納税の便宜を図るため、地方税制が改正されました。

この改正により、平成二十一年十月から全国的に、**住民税の年金からの特別徴収(天引き)**が開始されます。

ただし、松崎町では、特例措置により、特別徴収を延期して平成二十二年十月から開始します。

この制度は、納税方法を変更するもので、新たな税負担が生じるものではありません。

【対象となる人】

公的年金(老齢基礎年金(国民年金)、厚生年金、共済年金など)を受給されている六十五歳(四月一日現在)以上の方で、個人住民税の納税義務のある人。

【問合せ】

窓口税務課(42)3968

生涯学習 ソフトボール春季大会

六月十七日（水）から二十九日（月）まで生涯学習ソフトボール春季大会が開催され、十六チームが参加し、三部リーグ制で接戦が繰り広げられました。

七月九日に環境センター文化ホールで表彰式が行なわれ、常勝の船田チームを見事破った道部チームが優勝に輝きました。

各リーグのチーム成績は次のとおりです。



1部リーグで優勝した道部チーム

◎一部リーグ

- 一位 道部
- 二位 船田
- 三位 峰輪
- 四位 石部
- 五位 櫻田
- 六位 那賀

◎二部リーグ

- 一位 江奈一
- 二位 江奈一・二
- 三位 宮内
- 四位 北区
- 五位 岩地

◎三部リーグ

- 一位 金沢
- 二位 西区
- 三位 山口
- 四位 中区
- 五位 江奈四

【問合せ】
教育委員会（42）3971

市町村対抗駅伝 松崎町チーム決起大会

十二月五日（土）に行われる、第十回記念静岡縣市町村対抗駅伝競走大会の松崎町チーム決起大会が、関係者約六十人が出席して、六月二十二日（月）に環境センター文化ホールで行われました。

深澤進町長より土屋武彦監督（南郷）にチーム団旗が付託され、候補選手から大会へ向けた意気込みが発表されました。

今大会は第十回の記念大会となります。チームも上位進出を目指し、毎週水曜日午後六時二十分から松崎小学校のグラウンドで練習を積み重ねていきますので、応援をお願いします。



【問合せ】
教育委員会（42）3971

松崎文芸

— 短歌 —

ペチュニアの花のつぎつぎと咲きてゆき
すぎ去りしことはふり返るなど
忘れてはならない事も忘れたい

山本智恵子

カサブランカー一株深めに植ゑる
足の傷のほんたうの訳をつひに言はぬまま
いつの間にか兎は大人びてゐる

堀岡洋子

駅伝の競技場にて見上ぐれば
白き富士山が勇気をわかっ
客足のたえてうつろなひとときを
浅川マキのうたにひたりつ

高橋栄美

ふるふると大きくゆるるが楽しくて
眼鏡をはげし満月を見る
もうゐない母の生れし日の花は
母に似てゐるすみれと知りぬ

平野もみ子

キューポラを見上げて生きたる父なりき
淋しからうと今思ひゐる

高橋百代

もうゐない母の生れし日の花は
母に似てゐるすみれと知りぬ

岡村芳子

キューポラを見上げて生きたる父なりき
淋しからうと今思ひゐる

細田光代

キューポラを見上げて生きたる父なりき
淋しからうと今思ひゐる

土屋君子

ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

「花とロマンの里づくり」に役立ててもらいたい「お世話になった生まれ故郷のために」などの理由から、昨年度に引き続き、下記の方々からふるさと納税をしていただきました。

- 神鳥美 様（茨城県在住）
- 山本陽茂 様（東京都在住）
- 萩原 様（東京都在住）

ありがとうございました。
制度開始から12件、283万円の納税をしていただきました。

～ まちのできごと ～



6/25 姉妹都市帯広市よりアスパラ届く

開拓姉妹都市の帯広市より、特産品のグリーンアスパラ約250本が届きました。アスパラは、急きょ給食メニューに加えられ、町内の幼稚園、小・中学校の子どもたち約670人が味わいました。



7/5 石部温泉大地曳き網まつり

石部海岸で、毎年恒例の「石部温泉大地曳き網まつり」が行われました。前日から仕掛けられた延長約1200mの網を地元区民や観光客が協力して引き上げました。



7/19 雲見温泉無料サザエ祭り

雲見海岸で「雲見温泉無料サザエ祭り」が行われ、多くの行楽客で賑わいました。参加者は、合図とともに、一斉に海に飛び込み、まかれたサザエを懸命に探していました。



7/21 松崎町花の会あじさいの花摘み作業

那賀バイパスで、松崎町花の会の会員17人が集まり、来年もきれいなあじさいを咲かせるため、花期を終えたあじさいの花摘み作業を行いました。

廃校舎の利用について

少子化の波には抗しきれず、わが町も二十年前には、約六百五十人いた小学生も、年々減少し、現在では約四百二十人まで減少しました。特に、三浦、岩科、中川地区では、児童数が十人に満たない学年が多く見受けられます。こういった状況から、平成十九年三月に岩科小学校、三浦小学校を廃校とし、松崎小学校と統合しました。平成二十二年三月には、中川小学校を廃校とする計画となっています。廃校となった小学校一箇所へ町内の幼稚園、保育園を集中させることはできないだろうかとか、廃校になった小学校であっても、周辺に住む方たちの身近で貴重な公共的財産であることから、岩科小学校については、重文岩科学校を中心とした地域の活性化を目的とし

町長室からこんにちは ⑨2

松崎町長
深澤 進

た施設へ、三浦小学校を棚田などの自然環境を活用した都市との交流促進などを担う施設として利用できないかなど、さまざまな利用方法を模索しているところです。また、各廃校舎には、プールが併設されていますが、こちらの有効活用も考えていきたいと思っています。例えば、このプールを利用して、鮎やヤマメなどの川釣りに人気のある稚魚を養殖し、町内の河川に場所を区切って放流し、手軽に川釣りを楽しんでもいただく場所が提供できないだろうかなどと考えています。廃校舎やプールの活用方法について名案がございましたらご教示いただきたいと思つた次第です。

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成21年6月30日現在)

()内は前月比

総人口	8,123人	(± 0人)
男	3,847人	(+ 1人)
女	4,276人	(- 1人)
世帯数	3,151戸	(+ 4戸)
転入	17人	転出 11人
出生	6人	死亡 12人

町の交通事故

平成21年6月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(- 1)
物損事故	6件	(- 2)
死者	0人	(± 0)
傷者	1人	(- 3)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈2	山本 ちか	83	久 光
岩 地	齋藤 なを	93	芳右衛門
那 賀	土屋よし子	81	克 孝
道 部	齋藤 芳雄	84	芳 哉
北 区	齋藤 只春	93	齋藤嘉啓
北 区	長澤つや子	81	まゆ美
江奈2	稲葉さく子	83	文 義
明 伏	山本 哲男	89	金 男
峰 輪	鈴木太次郎	77	わか子

戸籍だより (6月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈2	あおい 葵	男	石田 稔
宮 内	けい 司	男	伊藤 宇司
北 区	えま 愛	女	齋藤 治之
中 村	たけ 尊	男	藪田 真也
江奈1	ひと み美	女	渡邊 雅英
吉 田	し 志郎	男	北館 省吾

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

COPD(慢性閉塞性肺疾患)が増えています!

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、気道の慢性的な閉塞により肺への空気の流れが悪くなる病気の総称です。

具体的な病名としては、肺気腫と慢性気管支炎が挙げられ、日本には50万人以上の患者さんがいると推定されています。

この病気は、タバコなどの有害な空気を吸い込むことによって、気道(気管支)や、肺(肺胞)などに障害が生じ、空気の出し入れがうまくいけなくなる病気です。

代表的な症状は息切れですが、しつこく続く慢性の咳と痰や、風邪を引いたときや運動した時の喘鳴(ぜいぜいする)もこの病気の症状です。

これらの症状はありふれたものなので、「年齢のせいだ」と思い込みがちですが、気づかないまま放置してしまつと、病気はどんどん悪化していきまふ。

長期にわたる喫煙習慣が主な原因であることから、COPDは、「肺の生活習慣病」とも言われています。

最近、在宅酸素療法を受ける人が増えてきました。本人がタバコを吸わなくても、受動喫煙で周りの人を病気にさせてしまう可能性もあります。

喫煙される方は、ご注意ください!

地域交流通信

松本市安曇地区から

もみじの七夕飾り

安曇地区の稲核(いねこぎ)では、昔から七夕飾りに、もみじを使います。

安曇地区にある他の集落では、笹を使います。この集落が、もみじを使うのは、笹や竹が少ないからなのか、ほかにないか理由があったのか、はつきりしたいわれはわかっていません。

かつて、集落のまわりの山の斜面には、桑畑や、炭の原木を伐り出す広葉樹林がひろがり、暮らして密接に結びついていました。山からもみじの枝を切ってくるのに格別の苦労はなかったことでしょう。

しかし、いつのころからか、稲核でも、七夕飾りにもみじではなく笹や竹を使う家が多くなりました。

そこで、稲核にある安曇資料館では、毎年、もみじの七夕飾りをつくる行事を行っています。稲核の子どものほか、大人や、稲核にある安曇保育園の園児の参加もあります。この行事でつくつた七夕飾りは、それぞれの家庭に持ち帰るほか、稲核の郵便局、消防署、道の駅「風穴の里」などにも飾ります。

安曇地区の七夕は一月遅れの八月七日です。七夕飾りは、翌八日の朝、子どもたちが集めて燃やします。



もみじの七夕飾り



七夕焼き